

2015年11月13日
株式会社日立製作所

アンサルド STS が米国の南東ペンシルベニア交通局向け信号システムを受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:Stefano Siragusa/以下、ASTS)は、米国の南東ペンシルベニア交通局(Southeastern Pennsylvania Transportation Authority/以下、SEPTA)の Media Sharon Hill Lines 向けの CBTC(Communications Based Train Control)システムを 5,320 万米ドル(約 65 億円)で受注しました。

ASTS が日立グループとして受注するのは今回が初めてになります。

今回、ASTS が CBTC システムを納入する Media Sharon Hill Lines は、全長 18 マイル(約 29km)の路線です。

本契約には据付工事、線路上の転てつ機の置き換え、既存の信号システムの性能向上に向けた製品の設置、試験等が含まれます。新システムでは、SEPTA の中央コントロールセンターからの運行状況の監視と運行スケジュールを集中管理することにより、安全性の向上と安定した運行を実現します。

ASTS は SEPTA とともに、FRA(Federal Railroad Administration : 米国連邦鉄道管理局)の規定に準拠するため PTC(Positive Train Control)システムを 13 の路線に設置しています。

ASTS は鉄道システムのグローバル市場におけるリーディング企業です。米国および世界各国において、最先端の技術を 100 年以上にわたり開発・提供しています。

今後日立は、新しく日立グループに加わった ASTS の信号システムにおける豊富な経験・実績を活かし、世界規模での鉄道システムの発展に貢献していきます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
